

# たまき雄一郎は、「議員定数削減なくして増税なし」を貫きます。

身を切る覚悟を持った政治家を応援して欲しい。

- 衆院小選挙区の1票の格差を是正 → 違憲状態を解消
- 衆院議員定数を45削減 → 政治家自ら身を切る

11月14日に行われた党首討論で、野田総理は自民党が議員定数削減に応じることを条件に解散を決断しました。

これまで、民主党は解散総選挙を先延ばしにするために、定数削減法案を衆議院で強行採決をしたと批判されてきましたが、私は、議員定数削減法案が野党の反対で否決されるのであれば、それをもって、総理は解散総選挙で国民に信を問えと訴え続けてきました。国民に負担を求める前に、議員自身が身を切らなくては、国民の理解は決して得られません。当然のことです。

しかし、自民党は0増5減の格差是正を訴えるのみで、定数削減には消極的でした。(裏面をご覧ください)

これに対して、野田総理はしづる安倍総裁に対し、党首討論の場で、解散するから議員定数削減をしようと迫り、増税の前に身を切ることを確約させたのです。

この間の、一連の動きを見ていただくと、どの党が、そして誰が身を切る改革に熱心なのか分かっていただけたと思います。国民の皆さんには、「身を切る覚悟」を持った政治家が誰なのか厳しく見定めたいので、応援いただければと思います。

## 玉木雄一郎(たまきゆういちろう)略歴

- 昭和44年 兼業農家の長男として香川県さぬき市(旧寒川町)に生まれる
- 昭和63年 高松高校卒業
- 平成5年 東京大学法学部卒業(在学中は、陸上部で10種競技の選手として活躍) 同年、大蔵省に入省。予算編成などに携わる
- 平成9年 米国ハーバード大学大学院(ケネディスクール)卒業(MPA取得) 外務省(中近東第一課)に outward、ヨルダン、リビアを担当 このとき、皇太子殿下、雅子妃殿下のヨルダン国王の葬儀に随行
- 平成17年 財務省主計局主査として、三位一体改革などを担当 財務省を退職し、衆議院選挙に立候補するも惜敗
- 平成21年 4年間の浪人生活を経て、衆院選で初当選(109,863票)

坂出事務所  
〒762-0053  
香川県坂出市西大浜4-5-14  
TEL:0877-46-1805 FAX:0877-43-5595

寒川事務所  
〒769-2321  
香川県さぬき市寒川町  
石田東甲814-1  
TEL:0879-43-0280 FAX:0879-43-0281

国会事務所  
〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第1議員会館706号室  
TEL:03-3508-7213 FAX:03-3508-3213



### たまき雄一郎 議員定数削減特集号

民主党プレス民主編集部  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1  
TEL:03-3595-9988(代表)  
press@djpj.or.jp http://www.djpj.or.jp

平成9年4月25日 第3種郵便物許可

## この3年間、香川で実現できた政策 - ふるさとの発展のため「一所懸命」取り組みます。

教育子育て

坂出市、宇多津町の小中学校におけるクーラー設置の予算を確保し、全教室への設置が実現



耐震防災 経済成長

坂出港を「重点港湾」に指定し、西岸壁の整備予算を確保

今後、「選択と集中」で港湾整備を行うため、全国に103港あつた重要港湾を43の「重点港湾」に絞り込み、予算配分を重点化しました。坂出港と高松港を、この「重点港湾」に指定したうえで、坂出港西岸壁の予算を確保し、早期整備を実現しました。



坂出港を海上から視察

耐震防災 経済成長

高松自動車道の4車線化事業(680億円)を地元負担ゼロで実現

政権交代前は100億円の地元負担を必要とする整備手法だったものを改め、地元負担ゼロでできる新たな整備手法を導入し、平成30年までに完成する予定です。また、地元業者の発注機会を増やせるようNEXCO西日本にも働きかけを行い、発注基準の見直しを実現。



前原大田(当時)に陳情

農林水産

土器川沿岸地区の水利施設の整備予算を大幅に拡充

(5億円規模から20億円規模に)。



土器川沿岸の頭首工の視察

香川用水の老朽化対策の予算を大幅に拡充

(2億円規模から10億円規模に)。



経済成長

宇多津駅のエレベーター設置を実現。JR四国の経営安定・設備投資のため、1800億円の支援を実現。



フリーステージレインの視察

耐震防災 農林水産

ため池整備の予算を創設し、綾川町などのため池で整備が実現

東日本大震災で福島県の礪沼池が決壊し多数の死者が出たことを受け、23年度3次補正予算で、ため池の管理・保全のための予算「震災対策農業水利施設整備事業」を創設。この予算を活用して、香川県内でも、満濃池の耐震調査や、綾川町の打田池などの早期整備がすでに実現しています。



補修されたため池の視察

# たまたき雄一郎は、「議員定数削減なくして増税なし」を貫きます。



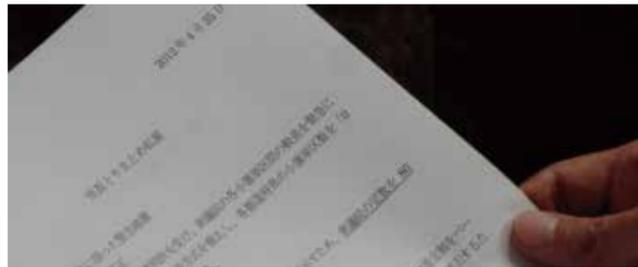
## 先頭に立って、議員定数削減に取り組んできた。

8月27日、一票の格差の是正と議員定数削減を主な内容とする公職選挙法等の改正案が、衆議院を通過しました。私自身、昨年12月以来、一期生の仲間と共に、党内でも最前線に立って議員定数削減に取り組んできたこともあり、感慨深いものがあります。しかし、残念ながら、自民党など野党は、削減の内容に反対し採決を欠席しました。さらに、8月29日の野田総理への問責決議の可決により、参議院での審議が行われないまま廃案となりました。



## 一票の格差是正は当たり前。「身を切る改革」が不可欠。

マスコミも含め、小選挙区の議席を5議席だけ減らせばいいという主張がありますが、「0増5減」は、一票の格差を是正するための最低限必要な措置であって、国民に負担を求める前にやるべき「身を切る」改革ではありません。民主党が国会に提出した定数削減法案は、この格差是正だけでなく、比例定数も削減する内容です。しかし、自民党は、「0増5減」だけ先行すると、特別委員会での審議に応じることさえしませんでした。そもそも、本年1月に、与野党間で、①一票の格差是正、②定数削減、③選挙制度改革を三点セットで議論しようという合意をしていたにもかかわらずです。



## 16回にわたる丁寧な各党協議を積み重ねてきた。

野党は、今回の採決を「暴挙」だと批判しますが、そんなことはありません。

民主党が提出した議員定数削減法案は、今年の10月から16回にわたって行われてきた与野党協議を踏まえて作成された法案です。われわれ民主党の若手は、マニフェストどおり比例定数80名の削減を主張し続けてきましたが、与党だけで選挙制度をつくるべきではないとの考えから、小数政党の意見も取り入れ、以下のような修正を加えた法案を作成しました。

- (1) 合計80名の削減を、次の選挙までの45議席減と、次の次の選挙までの35議席減の2段階に分けること
- (2) 小選挙区の得票数が少ない政党に比例定数の議席を優先的に割り振る「連用制」という制度を導入すること

## 6月18日、やむなく民主党単独で法案提出。

最終的に、野党側から法案提出の協力が得られず、6月18日、民主党単独で国会に提出せざるを得なくなりました。そして、国会の会期末が迫ってきた8月27日、野党欠席の中で採決が行われたわけです。こうした経緯をみれば、野党にも配慮し、相当丁寧な議論を積み重ねてきたことがお分かりいただけると思います。野党やメディアが批判するような「暴挙」では決してありません。



## 8月27日、議員定数削減法案が衆議院通過。

繰り返しになりますが、民主党は、衆議院議員の定数を、次の総選挙までに45を減らし、次の次の総選挙までにさらに35減らし、合計80の定数を削減する法案を国会に提出し、衆議院では、なんとか成立までたどり着くことができました。しかし、参議院で多数を占める野党が問責決議を可決させたことで、審議すらしないまま法案は廃案となりました。

もし、法案の中身に反対なのであれば、なぜ、委員会や本会議に出席して「反対」の意思を示し修正協議を行わないのか、なぜ、審議を「欠席」するのか、私には理解できません。増税については3党で合意しておきながら、議員定数削減には反対。これでは、野党は身を切る改革には消極的だと断ぜざるを得ません。



## 自民党は、自ら提出した法案の審議さえ拒否した。

自民党は「0増5減」の法律を自ら国会に提出しながら、その法案の審議にさえ応じませんでした。これはどう弁解しても弁解しきれないと思います。政局優先で、格差是正にさえ消極的だと批判は免れないでしょう。「社会保障と税の一体改革」については三党で合意した以上、この中身に3党間で大きな差はありません。しかし、今回の一連の対応で、どの党が、議員定数削減に熱心なのか、どの政治家が、最も「身を切る」改革に熱心なのか、明確になったと思います。

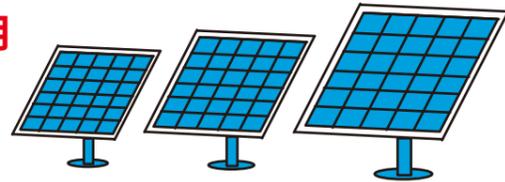
## 法案の比較

民主党法案	
1票の格差是正	小選挙区0増5減（定数5削減）
比例定数削減	40削減、次々回さらに35削減
選挙制度改革	・ 比例定数140のうち35を連用制的比例枠として中小政党に配慮 ・ 次回総選挙後に選挙制度審議会での抜本改革の審議
自民党法案	
1票の格差是正	小選挙区0増5減（定数5削減）
比例定数削減	なし
選挙制度改革	なし

# 「21世紀の田園都市国家構想」で地域経済を再生します！

## 自然エネルギーのフル活用

### 「エネルギー」



- ・小水力発電機の農業用水路への設置を支援し、売電収入で農家コストを低減。
- ・世界最新の太陽熱（光）技術を集めた21世紀の「太陽博覧会」を香川で開催。

## 革新的な農林水産業の推進

### 「農林水産業」



- ・若者の農業や漁業への新規就業を支援する制度を拡充し、若者の農山漁村への定着を促進。
- ・IT技術を活用し、生産性を画期的に引き上げた革新的農業の導入を推進。
- ・コメや麦だけでなく、野菜や果樹を含む総合的な所得保険制度を創設。



## 経済活性化につながる交通政策

### 「交通政策」

- ・平成26年度をめぐり瀬戸大橋の料金を、全国共通料金水準まで引き下げ。あわせて他の公共交通機関への支援を拡充。
- ・坂出北ICのフル・インターチェンジ化で、物流の効率化や、防災への備えを万全に。



## たまき雄一郎のふるさと再生ビジョン

私は、30年前、大平正芳元総理が提唱した「田園都市国家構想」を現代に蘇らせ、「田園のやすらぎ」と「都市の快適さ」が融合した、豊かな地域社会を作りたいと思っています。当時はなかった「インターネットの発達」、「再生可能エネルギーの売電制度」、「アジアの経済発展」の三つの要素を活用すれば、今こそ、この構想を実現できると考えています。鍵となる政策は、「エネルギー」、「農林水産業」、「教育」、「住宅政策」、「交通政策」、「震災・防災対策」です。



## 田園都市国家構想とは・・・

総理就任後初の国会施政方針演説(1979年1月)より「私は、都市の持つ高い生産性、良質な情報と、民族の苗代ともいべき田園の持つ豊かな自然、潤いのある人間関係を結合させ、健康でゆとりのある田園都市づくりの構想を進めてまいりたいと考えております。緑と自然に包まれ、安らぎに満ち、郷土愛とみずみずしい人間関係が脈打つ地域生活圏が全国的に展開され、大都市、地方都市、農山漁村のそれぞれの地域の自主性と個性を生かしつつ、均衡のとれた多彩な国土を形成しなければなりません。私は、そうした究極的理念に照らして、公共事業計画、住宅政策、福祉対策、文教政策、交通政策、農山漁村対策、大都市対策、防災対策等、もろもろの政策を吟味し、その配列を考え、その推進に努めてまいります。」



大平正芳元総理

## 若者の住宅建設支援

### 「住宅政策」

- ・贈与税の見直しで、高齢者から若者への住宅建設資金の贈与を促進し、若者の住宅建設を支援。
- ・1戸あたり数十万円程度の「木造住宅ポイント制度」を創設し、木造住宅の建設を推進。

## グローバル化に対応した公教育の再生

### 「教育」

- ・「教育特区」で、読み、書き、そろばんなどの基礎学力の強化を図り、「香川県=教育県」のブランドを回復。
- ・高校生の留学を支援し、グローバル化に対応できる人材を育成。

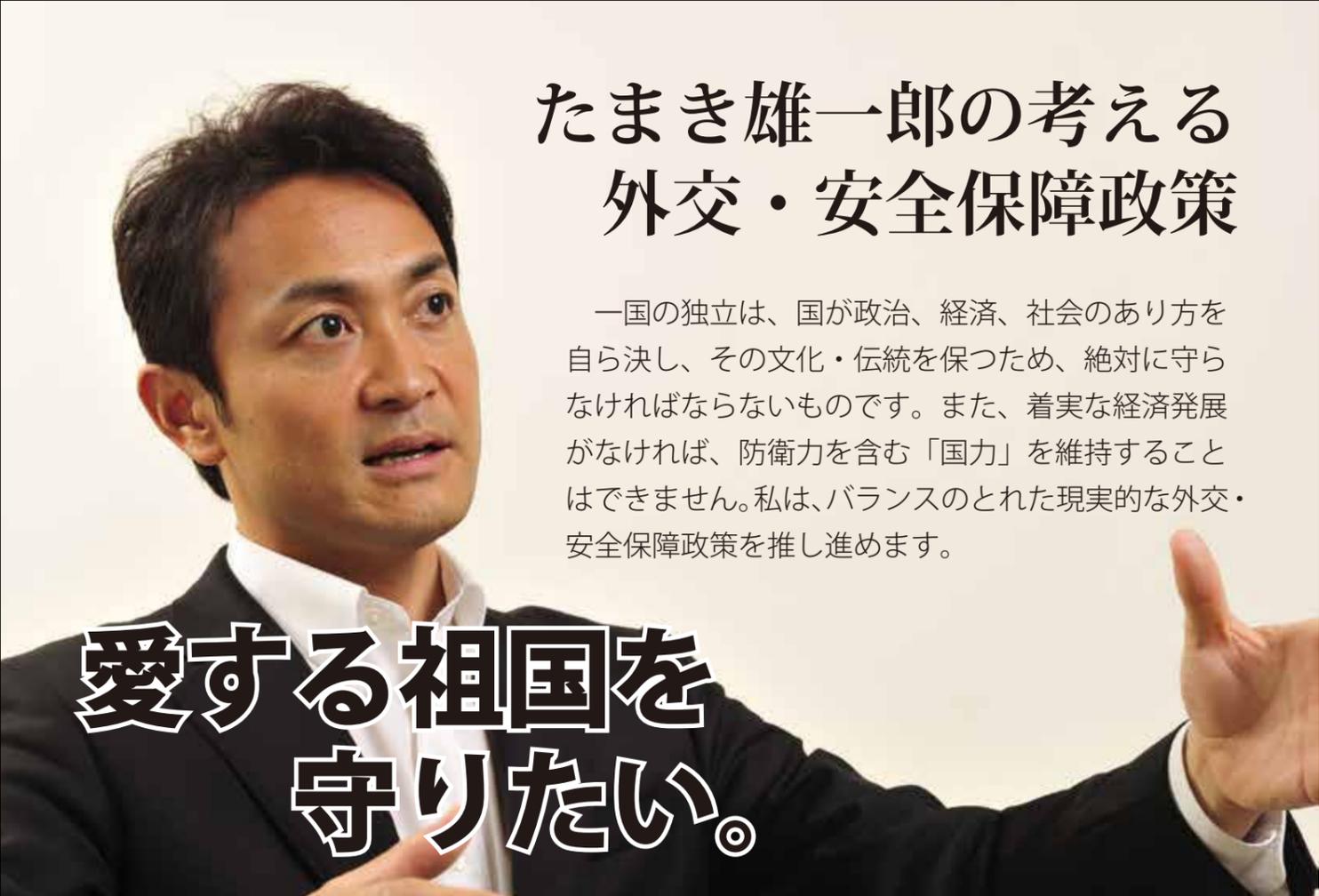


## 南海地震への対応

### 「震災・防災対策」

- ・坂出港や高松港の耐震強化岸壁化をはじめ港の機能を強化。
- ・老朽化した、ため池の耐震点検・整備のための予算を拡充。
- ・着工が決まった高松自動車道の4車線化事業（総額680億円）の早期完成。





# たまき雄一郎の考える 外交・安全保障政策

一国の独立は、国が政治、経済、社会のあり方を自ら決し、その文化・伝統を保つため、絶対に守らなければならないものです。また、着実な経済発展がなければ、防衛力を含む「国力」を維持することはできません。私は、バランスのとれた現実的な外交・安全保障政策を推し進めます。

## 愛する祖国を 守りたい。

### 「防衛大綱」の見直しで、 自衛力を強化

過去24年間で、中国の軍事費は30倍になっています。こうした東アジアの安全保障環境の変化に対応し、「平和主義」、「専守防衛」、「日米同盟基軸」などの従来の基本政策は維持しながらも、防衛の在り方も、新しい時代に対応したものに変わっていかなくてはなりません。そこで、私たち党内の若手を中心となって、平成22年に防衛大綱の見直しを行い、新しい防衛の基本方針を決定しました。

その内容は、仮想敵国をソ連とし、北方方面に主に陸上自衛隊の配備を重視してきた、これまでの「基盤的防衛力構想」によらず、南西島嶼方面に、海上自衛隊、航空自衛隊の配備を強化する「動的防衛力構想」に方針を転換するものです。防衛政策においても、これまでの政権ではできなかった重要な政策転換を実現します。

### 動的防衛力の強化

#### 南西方面における海と空の守りを強化

- ・潜水艦の所要隻数を16隻から22隻に強化し、情報収集や警戒監視を充実
- ・能力の高い新型戦闘機（F-35A）を24年度以降、42機導入

### 海保の強化

#### 海上保安庁の機能を強化

- ・24年度予備費で、海上保安庁の艦船を7隻増

### 戦略的外交

#### インド、ロシア、ASEAN諸国との連携

- ・過度な中国依存を避けると同時に対中牽制を図るため、中国の周辺国との戦略的提携を強化
- ・「世界の工場としての中国」の代替になり得るASEANへのインフラ整備と投資促進の支援を強化

# 改革に全力を 傾けた3年間

これからも粘り強く改革を継続します。

#### ■国会における役職等（抜粋）

##### 【所属委員会】

- ・予算委員会
- ・農林水産委員会
- ・海賊テロ対策特別委員会

##### 【行政改革関係】

- ・特別会計仕分け（H22.1）
- ・提言型政策仕分け（H23.11）
- ・民主党版事業仕分け（H24.7）
- ・特別会計改革 WT 座長

##### 【電力改革関係】

- ・東京電力問題・電力システム改革 WT 事務局次長

##### 【農林水産関係】

- ・農業農村整備事業等 WT 座長
- ・経済連携 PT 事務局次長

##### 【その他】

- ・獣医師問題議員連盟 事務局長



税金のムダづかいを洗い出す「事業仕分け」では「原子力問題予算」や「生活保護の見直し」を提言しました。



NHKで中継された予算委員会では全国から大きな反響をいただきました。



みのもんたの朝ズバッ！など数多くのテレビ・新聞で取り上げられました。